



安倍9条改憲に 終止符を!!

森友学園建設に絡んだ前代未聞の公文書改ざん、加計学園獣医学部新設への関与否定、自衛隊の「日報隠し」等々安倍政権が国会でうそをつき国民を欺き続けています。その上、「労働者ニーズ」のでつち上げが疑われる「残業代ゼロ制度」を含む「働き方改革関連法案」、「カジノ実施法案」の衆院通過を強行し、会期延長で成立を図ろうとしています。どちらも国民の支持が三割にも達していません。誰のための法案なのでしょう。

公文書の改ざん、捏造を行ってはばからない安倍政権に憲法を語る資格はないという声が高まっています。今国会での改憲発議を阻止しようとする

000万人を目標に取り組んできた「安倍9条改憲NO!全国統一署名」、1350万筆（4月末までの集約分）が6月7日国会に提出されました。有権者の4分の1の目標を掲げ達成したとの報告も多数ありますが、野田・九条の会は713筆でした。3000万人署名は継続されていますので今回の九条通信に併せて、再度署名用紙をお届けします。ハードルの高い署名集めですが安倍改憲をめぐって内に抱えている不安や危機感を、改憲をゆるさない行動へつなげることができた時、改憲発議を断念させ、九条改憲に終止符をうつことができないのではないのでしょうか。

”米朝首脳会談”については裏面「九条の眼」に掲載しました。

予告 ※ 平和のつどい・のだ2018 ※

8/18-19 (土) (日)

「来て見ていっしょに考えませんか
今のこと これからのこと」

場所：野田市中央公民館 1階 全体

今年の平和のつどいは、「来て見ていっしょに考えませんか 今のこと これからのこと」をテーマに中央公民館で2日間開催されます。展示ツアーがお勧め。時間を決めて1日2回、説明を聞きながら現代史を学びます。ところどころに隠されたクイズに答えるスタンプラリーもあります。19日には軍隊のない国コスタリカの映画と講演で未来を考えます。毎年来てくれる高校生の朗読劇、戦争体験や子供のころの体験など話す「私と戦争」も期待されます。詳しくはチラシで。(九条通信8月号と一緒に配られます。)

7.15 国民平和大行進

① いちいのコース 9:00 関宿中央公民館 集合
② みずきのコース 10:30 南部診療所 集合

実行委員会形式で毎年行なっている平和行進。2つのコースのうちどちらか1コースだけの参加もできます。手作りのプラカードや旗など大歓迎。野田・九条の会も協賛しています。

※月の予定です	
7月 1日(日) 13:30 ~ 16:30	DVD 視聴とディスカッション 忘却にあらがう 福島原発の今! 「原発裁判・原告たちの記録」 南部梅郷公民館 南地域九条の会
7月 7日(土) 13:30 ~ 16:30	野田・九条の会 7月例会と DVD 視聴 EIV 特集 「平和に生きる権利を求めて〜長沼事件と憲法」 中央公民館 講座室 野田・九条の会
7月 9日(月) 14:00 ~ 15:00	9の日 若者に呼びかけ 雨天の場合は運河駅 模範国民投票と九条通信配布 運河ふれあい橋 理科大側 野田・九条の会
7月 19日(木) 11:00 ~ 12:00	9の日 模範国民投票と九条通信配布 七光台駅 自由通路 野田・九条の会
7月 21日(土) 14:00 ~ 16:00	ちよつと硬派な おしゃべりカフェ 「政治や憲法のこと気軽に おしゃべりしませんか」 北コミ 談話室 野田・九条の会
7月 28日(土) 13:30 ~ 16:30	DVD 上映とディスカッション 「わが不知火はひかり風 石牟礼美智子の遺言」 中央公民館 講座室 子どもの未来を語る会
7月 29日(日) 17:00 ~ 18:00	9の日 模範国民投票と九条通信配布 梅郷駅 西口 野田・九条の会



□**歴史的な会談** 6月12日のシンガポール米朝首脳会談は歴史的会談として語り継がれることでしょう。半年前、いまにも米国による先制攻撃が始まるのではないかとハラハラし、日本国民はJアラートでミサイルが飛来すると恐怖心を煽られ訓練で頭を抱えました。これらの事態はもともと日本がつくった不幸な歴史から生じています。日本の敗戦で植民地支配から解放され建国した韓国、北朝鮮は東西冷戦、朝鮮戦争もあり南北に分断固定されました。しかし65年余のときを経たいま、平昌オリンピックを転機に戦争は避けたい、祖国は一つとする両者の思いは南北会談を実現させ、さらに米朝会談へ発展させたと考えられます。

□**目指すところが見えてきた** 米朝首脳会談の「シンガポール共同声明」は北朝鮮の現体制を保証し、朝鮮半島の非核化をうたっています。現時点で最も重要なことは戦争回避を選んだということです。会談により米国は先制攻撃体制を解き、北朝鮮は核の削減をはかることになりました。日本政府は北朝鮮を敵国とみなし政策を打ち出してきましたがこの会談で転換を迫られることになります。この間

も目指すところは戦争をしないこと、対立から会話、そして国交正常化へと進むでしょう。ことことは中国、ロシアとの友好関係を深めることにもなります。

□**大仕事を誰にさせるか** 大仕事が待っています。「シンガポール共同声明」により朝鮮半島の非核化、北朝鮮との戦後処理また経済支援は日本にとって大きな課題です。これらは過去日本が行った歴史に関わる清算であり避けられないことです。植民地支配への損害、苦痛への謝罪は戦後世代の国民には大きな負担となりますがしなければなりません。賠償や経済支援には歴史認識の一致は大切です。あったことをなかつたことにする歴史修正主義や戦前回帰の思想を持つ人々を支持基盤とする安倍首相には到底担えません。隣国を敵とした政権は新たな平和への道づくりの障害です。国際社会からは憲法を生かせるのかと問われるでしょう。北東アジアの平和は新たな首相を誰にするかによって決まります。



民主主義が危ない！ ”国政と市議の意識を考える”



ここ数年社会を騒がせている官僚による国民への背信行為に対して、きちんと対処すると何度も発言しながら、その言葉とは裏腹な姿勢を推し通している国政を担う政治家。そんな中、責任感ありまじめな公務員が自ら命を絶ってしまったことは本当に痛ましい。民主主義のルールに則って選任された議員が自らの手で民主主義を壊しているかに見える現状は人びとが前向きに生きようとしている力を削いでしまうようで憂鬱になる。政治は一人ひとりの命に直結しているのだ。

□**それぞれの考えを伝えてほしい** 現政権の政策や姿勢について、市民生活に最も身近な野田市議会議員の方々に、市民団体が公開質問状を出したところ、回答があった議員は8名（内、5名からはコメントも入っていた）。質問状は受け取った

が返信のない議員は8名。質問状の受け取りさえ拒否した議員が11名もいたと知り、市民への誠実さが感じられず残念でならない。主義主張が異なる市民に対しても、いや、それならなおのこと市議の責務として、それぞれの考えや思いを伝えようとする誠意を示してほしかった。憲法9条の改定に反対の議員方には、市民に見え易いかたちで立ち位置を明確にし、更に発信していただけたら心強く思いますし、大いに期待しています。生まれ故郷よりも長くこの街に住むものとして望ましい街は、我々一人ひとりが、異なる考えの人びとを理解しようとする努力を止めないこと、小さくても信頼感を互いに大切に育てていくこと、それが遠回りだけれど、助け合いながら安心して暮らすことのできる街に繋がっていくのではないのでしょうか。

菊地 多鶴恵